

東電福島第一原発(イチエフ)事故後11年8カ月。福島は全く終わっていません。チェルノブイリ・ザポリージャ原発の状況を見ても福島県民や国民の不安は募るばかり。事故を経験し現状を目の当たりにしている東京電力が、トラブルを起こし続けながら未だに原発推進することに憤りを覚えます。

気候変動対策とエネルギー危機を口実に原発推進に政策転換方針を打ち出した岸田政権が、同政権が閣議決定した第6次エネルギー基本計画の<可能な限り原発依存度を低減する>を忘却することは許されません。東京電力が安易にこの方針に依存して原発推進に邁進することなく、福島第一原発事故後の処理に注力し総ての原発を廃炉にすることを願っています。

地球上の総ての生き物に傲慢でない施策を東電に求めます。納得できる回答をお願いします。

質問1【全般】 原子力改革でなく原子力離れを

・東電の原発推進政策、・放射能汚染の影響、・イチエフ中長期ロードマップ、・イチエフ汚染水対策、・地下水流入対策、・イチエフ事故責任、・イチエフ事故原因追求、・柏崎刈羽原発、・被ばく労働について、・東電のコンプライアンスについて、等々の要望に対して、東電はいくつかの「弱さ」を認識した上で<地域の皆さまや社会から「信頼される発電所」を目指した原子力改革に着手>と回答されました。

あれだけの事故を起こし福島は全く終わっていないにも拘らず、相変わらず未だに原子力発電に執着される理由が私たちには全く理解できません。事故直後に東電を破綻させなかった経産省が今も厳しく責められている現実を理解していただきたいと思います。

質問1-1 前述の多くの課題に真摯に取り組む、数多くの「不適切な事実」を反芻し、原子力改革でなく原子力離れを、東電に強く求めます。如何ですか？

質問2【東電の原発推進政策】

質問2-1 世界の原子力の状況

世界の原子力の統計によれば、「新設より廃炉が多い」、「発電量が前年より減」、「稼働中原発411基、その平均稼働率31年」、「既廃炉原発204基、その平均寿命27年」、「大量廃炉時代を迎え縮小する原子力」と聞きました。

この事実を確認願います。

今後は、太陽光発電や蓄電技術に注力して原子力発電を止めるべきではありませんか？

質問2-2 賠償と原発投資

東電の賠償金の支払い状況(本年11月18日現在)によれば、累積で10兆5千億円(うち政府賠償1880億円、原子力損害賠償・廃炉等支援機構からの資金交付10兆3310億円)と発表しています。

一方で、次の報道がありました。

○福島原発事故、原賠審が「故郷喪失の賠償」対象拡大求める最終報告…指針見直し検討へ

2022/11/10 13:00 読売新聞

文部科学省の原子力損害賠償紛争審査会(原賠審)の専門委員は10日、東京電力福島第一原発事故の賠償基準となる「中間指針」について、故郷の喪失や変容による慰謝料の対象地域を拡大するよう求めることなどを柱とした最終報告をまとめた。原賠審は同日午後に報告を受けて、指針の見直しの検討に入る。報告は、指針を上回る賠償額

を認めた判決を分析。「故郷喪失・変容による精神的損害」などの5項目を示し、「新たに類型化された損害を取り込む努力・工夫」を求めている。

○原発避難者訴訟控訴審、増額し東電に賠償命令

11/25(金) 15:35 配信 共同通信

<https://news.yahoo.co.jp/articles/8c38a7de99c2d82d49269047511abb77e71268d2>

東京電力福島第1原発事故で古里を奪われ精神的苦痛を受けたとして、福島県南相馬市原町区の住民らが東電に損害賠償を求めた集団訴訟の控訴審判決で、仙台高裁は25日、約2億7900万円の支払いを命じた。一審判決から増額した。

既に10兆円を国(機構)から交付され賠償しているのですね。

この様な中で、柏崎刈羽ほかの原子力発電の稼働の為に投資したり、日本原電の東海第二原発の為に資金支援することは、おかしくありませんか？ 東電の見解をお聞かせ願います。

質問3【放射能汚染の影響】

質問3-1 イチエフ放射能汚染の実態

イチエフからの「各年の気体・液体・固体の年間推定放出量」を知りたくて、過去数回に渡って毎月の放射性物質の放出量を質問してきましたが、セシウムが不検出(ND)ゆえ「実質0(ゼロ)」、他の発電所と同じ扱い、などの回答でした。残念ながら、私には汚染の実態が良く分かりません。

もう一度、過去11年余りを振り返って質問します。

(1) 事故直後及び各年の気体からの放射生物質の放出量を把握していますか？

年あるいは月レベルでの放出量の推定値が分かれば教えてください。

(2) 事故直後及び各年の液体の放出量を把握していますか？

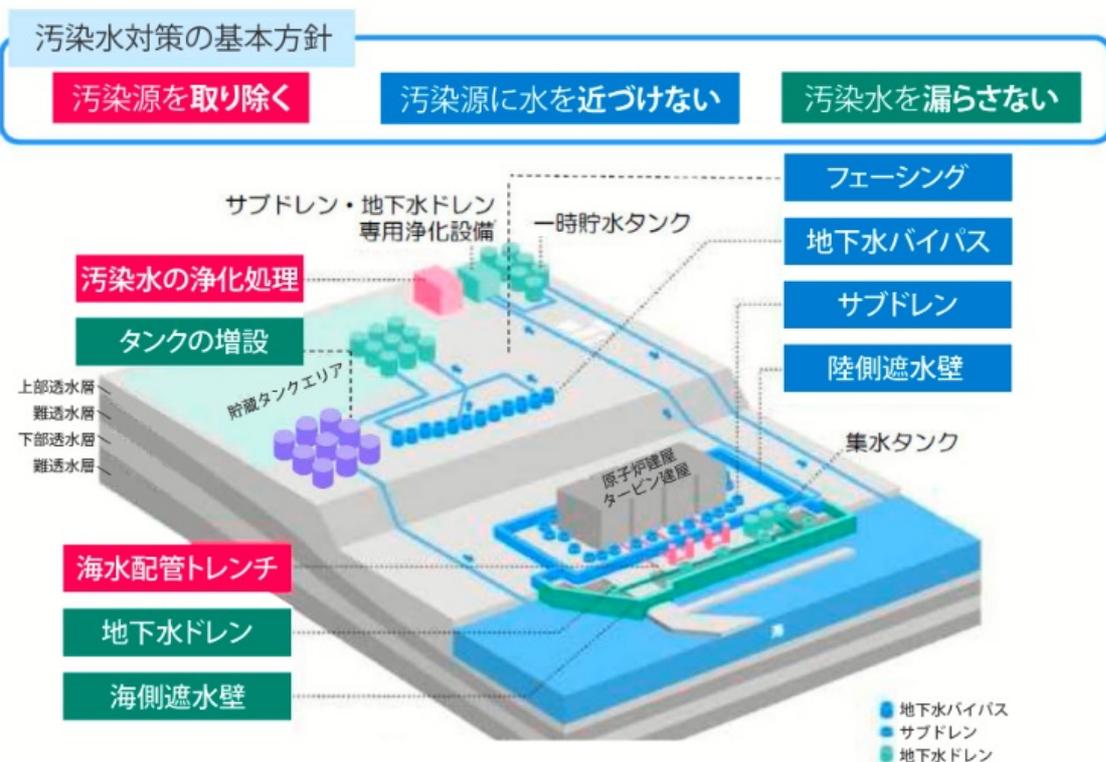
年あるいは月レベルでの放出量の推定値が分かれば教えてください。

(3) 事故直後及び各年の固体の放出量を把握していますか？

年あるいは月レベルでの放出量の推定値が分かれば教えてください。

質問3-2 イチエフ放射能汚染水の実態

エネ庁サイトの次の図に基づき質問します。



図に次の説明があります。

【地下水バイパス】

山側の高台に井戸(地下水バイパス)を設置。建屋に近づく前に地下水をくみ上げる。くみ上げた地下水は東京電力と第三者機関で分析をおこない、放射性物質の濃度の基準(運用目標)を下回ることを確認して排出している

【サブドレン】

建屋近くに井戸(サブドレン)を設置。地下水をくみ上げることで、建屋周辺の地下水の量を減らして水位を低く抑え、建屋に流入する地下水の量を抑える。くみ上げた地下水は浄化処理し、地下水バイパスと同様に運用目標を下回ることを確認して排出している

(1)地下水バイパスを経由して排出する水量はどれだけですか？

いつも運用目標を満足していますか？ セシウム137の濃度はどれくらいですか？

その水量と上記濃度とを乗じるとCs137の排出量がでます。どれだけと推定していますか？

(2)サブドレンから吸い上げて浄化処理して排出する水についても、運用目標を満足しているか、そのCs137の濃度はどれだけか、Cs137の推定排出量を教えてください。

(3)水位管理システムについての次の記述があります。

<現在の水位管理システムでは、原子炉建屋内の汚染水が建屋外に流れ出ることを防ぐために、建屋内の水位を建屋周辺の地下水位よりも低く管理しています。そのため、どうしても建屋内に地下水が流れ込み、新たな汚染水が発生してしまいます。>

この水位管理で「建屋内の汚染水が建屋外に流れ出ることが無い」ことを、現場状況を踏まえて再度確認させてください。

質問3-3 海洋生物の飼育試験

何らかの結果が出ているのであれば教えてください。

質問3-4 IAEA 調査団

IAEA が来て福祉の魚を採取し検査している様ですが、その概要と結果を教えてください。

質問3-5 東電処理水安全アピール実演

実演を改善されたとの記事を見ました。改善理由とその後の状態を簡単に説明願います。

質問4 【イチエフ中長期ロードマップと実施計画】

ロードマップ見直しの必要性を主張してきましたが、政府の「政府の廃炉・汚染水・処理水対策関係閣僚等会議」がまだ開催されません。

質問4-1 予定引き延ばしや汚染水「海洋放出」の為の真実味の無いロードマップでなく、専門家も「国民」も誰もが理解し納得できる案を策定願います。

質問5 【イチエフ汚染水対策】 汚染水海洋投棄(「海洋放出」)計画

前回のご回答に追加質問します。

質問5-1 放射能汚染された山野を流域とする河川からの海への放射性物質の流入についてはどのように把握されていますか？

質問5-2 世界三大漁場のひとつである北西太平洋漁場への影響をどう予測しているのですか？ に対して、拡散シミュレーションの結果を説明されました。境界条件の扱いを確認させてください。

また、より広域のシミュレーションを私が主張しましたが、ショーン・バーニーさん(グリーンピース)

も北太平洋を対象とするシミュレーションが必要と指摘しています。やるべきではありませんか？

さらに、ショーン・バーニーさんは、更に環境影響評価の必要性和、海洋法に関する国際連合条約（UNCLOS）違反と指摘しました。環境省や外務省と協議する必要があるのではありませんか？

質問 5 - 3 漁協の反対に対して「関係者の理解なしには放出しない」方針は当然ですが、「多くの方に、廃炉の取組みへのご理解を深めていただけるよう、全力で取り組んでまいる所存」と考えられているのであれば、前述の様に早急に廃炉ロードマップを作り直すべきだと思います。如何ですか？

質問 5 - 4 了解が得られない場合を想定して、次の策を準備するべきではないですか？

質問 5 - 5 「…設備の検討状況」について

計画どおり「海洋放出」をする場合に、約 1000 個のタンクがどの様に推移するのか、ポータルサイトのあるいは「タンク内 ALPS 処理水等およびストロンチウム処理水の貯蔵量」がどの様に変化するのか……の質問に対して、

昨年 8 月の「…検討状況」<https://www.tepco.co.jp/press/release/2021/pdf3/210825j0102.pdf> を教えていただきました、ありがとうございます。

(1) ざっと見て最初に感じたことは、いくつかに分類したタンク管理などこれほど複雑な作業をするのであれば、例えば北側の敷地あるいは福島第二原発敷地にタンク保管する方が、単純で東電の負担も少ないのではないかと、国内外からの反対の声への対応もしなくて済むのではないかと、多くの人々の不信をぬぐえるのではないかと、です。如何ですか？

(2) タンクエリアの敷地利用見通し (P.16) の将来部分は数値が示されていません。概略で示せませんか？

(3) 放出シミュレーションの図表 (P.55 ~ 57) を見ても、2050 年まで 30 年間ほどの作業がこの様に計画どおりいくとは限らないことは、これまでのロードマップを反芻すれば明らかだと思います。末代の人びとにとんでもない負担を押し付けることになるのではありませんか？

(4) その後この「検討状況」の更新はされているのであれば、最新情報を教えてください。

質問 6 【地下水流入対策】

質問 6 - 1 ポータルサイトから

前回の質問では、ポータルサイトの 2 種のタンク図のうち下側の満水タンクの数値で、3 カ月間の地下水流入量の推定には不適當でした。

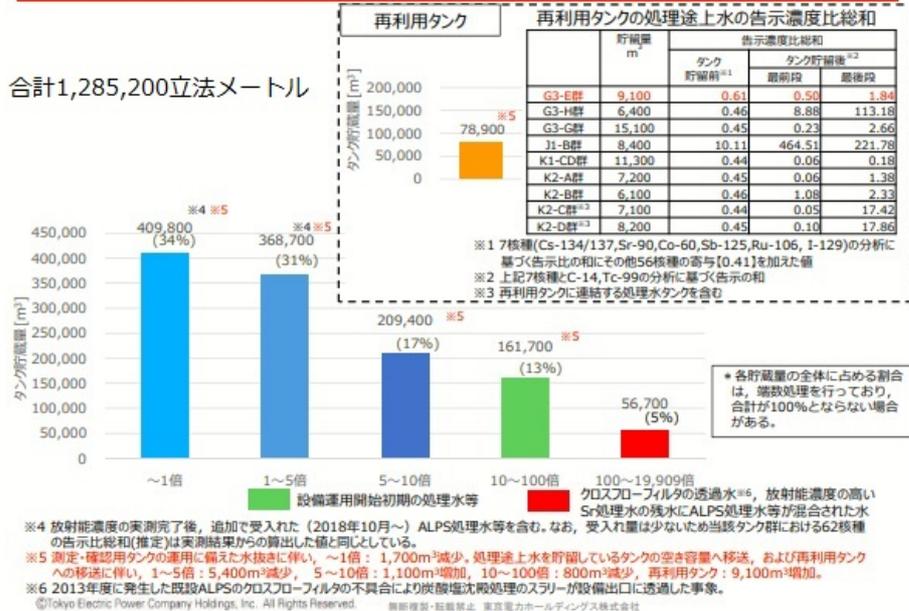
(2022 年 9 月 30 日現在) 1,285,200m³

(2022 年 6 月 30 日現在) 1,282,900m³

(2022 年 3 月 31 日現在) 1,266,400m³

できれば、上側の「タンク内 ALPS 処理水等およびストロンチウム処理水の貯蔵量」から、過去 1 年間の貯蔵量の推移を確認させてください。各月の地下水流入量もそれから推定できます。

質問 6 - 2 図は「ALPS 処理水等の告示濃度比(推定値)毎の貯蔵量 (2022 年 9 月末時点)」で、告示濃度比ランク別の量が示されています。「海洋放出」は、この「告示濃度比」とは関係なく、下の棒グラフのどのタンクから「放出」するかは分からないのでしょうか？ 再度確認願います。



質問 7 【イチエフ事故責任】

「3つの誓い」違反、「7つの約束」違反、「福島原発告訴団」裁判、あらかぶ裁判、多数の損害賠償裁判、賠償審査会の増額指示、など多くの問題があり、事故責任をきっちりとしていただきたいと考えます。

質問 7-1 東電として見直しを検討していますか？

質問 8 【イチエフ事故原因追求】

質問 8-1 (再掲)「福島原子力事故発生後の詳細な進展メカニズムに関する未確認・未解明事項の調査・検討結果」取りまとめの予定をお教え願います。次回(第6回)はいつ公表されるのでしょうか？

質問 9 【柏崎刈羽原発について】

質問 9-1 産経新聞が報道した次の記事の説明をお願いします。

東京電力柏崎刈羽原発 7号機の冷却用配管で見つかった穴 = 10月、新潟県柏崎市(東京電力提供)

) <https://www.sankei.com/article/20221124-XDO45TMMCJPD3BUZ2G673WBYCQ/>

<東京電力は24日、柏崎刈羽原発7号機(新潟県)の冷却用の海水配管で見つかった約6センチの穴について、運転停止期間に配管内にさびが発生し、湿気のある状態の中で、腐食が進んだことが原因とみられると発表した。>

質問 9-2 「日本製鋼所子会社、原発で新たに20件不正」と報道されました。柏崎刈羽6, 7号機には同社からの納入品はありませんか？

質問 10 【イチエフの耐震について】

東電福島第一原発(イチエフ)の1号機のペDESTALの損傷など原子炉の耐震性が心配ですが、<仮にペDESTALの支持機能が低下した場合であっても、周辺の公衆に対し、著しい放射線被ばくのリスクを与えることはないと考えております。>と回答されました。一層心配になりました。

質問 10-1 IRIDの技術力に疑問があり、またペDESTALの支持機能が低下した場合に放射性物質を周辺に拡散することが無いとは信じられません。もう少し詳しくご回答の説明をお願いします。またこの問題について、森重さんと公開討論をする気はありませんか？

以上